

科目番号	52009	分類	助産診断技術学	履修者	高度実践助産コース	学年	1	
科目名	妊娠期診断・技術学 (Antepartum Care)					1		
						配当セスター 通年		
担当者	○佐藤いずみ 他3名	区分	助産師免許取得プログラム	必修	単位	1	時間数	15
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連		
<p>【概要】 妊娠期にある女性の身体的・心理的・社会的変化について学び、適切な助産診断とケアを行うための知識と技術を学ぶ。また、妊婦のセルフケア能力の向上や出産準備を目的とした保健指導計画について理解を深め、妊娠期の管理や対象のニーズの共有の方法や健康支援のあり方を学ぶ。</p> <p>【目標】 1. 妊婦の生理的な身体的、心理的、社会的変化、正常な妊娠経過について説明できる。 2. 妊婦の健康状態、正常な妊娠経過と正常逸脱について助産診断ができる。 3. 妊娠期の助産過程の展開に必要な知識（問診、計測診、胎児心拍数モニタリング、超音波検査など）について説明できる。 4. ハイリスク妊婦の助産過程の展開およびケースカンファレンスを通して、チームで支援にあたる方法について説明できる。</p>						○	1. 自律して自然分娩の支援ができる能力	
						○	2. 院内・院外助産システムを担うことができる能力	
						○	3. 女性の生涯にわたる健康を支援できる能力	
						○	4. 周産期の救急時に対応できる能力	
						○	5. 他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力	
							6. 研究・開発能力	
						○	7. 倫理的意思決定能力	
授 業 計 画								
回	内 容						担当教員	
第1回	妊娠期の助産診断（妊娠の診断、妊娠経過の診断）						佐藤 他3名	
第2回	妊娠による母体変化とマイナートラブル							
第3回	妊娠期の心理社会的変化（母性、父性及び家族の関係性等）							
第4回	妊娠期の保健指導							
第5回	ハイリスク妊婦の管理と助産ケア							
第6・7回	異常妊婦の管理と助産ケア							
第8回	胎児診断と胎児治療							
事前・事後学習	事前学習：各回の必携図書で該当する部分を読んでおくこと。 事後学習：配布資料を復習する。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み合わせること。							
評価の方法	筆記試験 80%、課題 20%							
参考図書・資料等	<p>◎助産学講座3 母子の健康科学 第6版 我部山キヨ子他 医学書院 ◎助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ(1)妊娠期 第6版 我部山キヨ子他 医学書院 ◎プリンシプル産婦人科学1 産科編 第3版 武谷雄二監修 メジカルビュー社 ◎超音波胎児形態異常スクリーニング 馬場一憲 文光堂 2015 ・助産師基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊産婦・新生児へのケア 2023 日本看護協会出版 参考図書は適宜紹介する。</p> <p>◎は授業の必携図書のため購入を必要とする。</p>							
備考	オフィスアワーについては学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。 フィードバックは適宜行う。							